



## 2019年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年8月3日

上場会社名 長瀬産業株式会社

上場取引所 東

コード番号 8012 URL <https://www.nagase.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 朝倉 研二

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部本部長 (氏名) 高見 輝

TEL 03- 3665- 3103

四半期報告書提出予定日 2018年8月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第1四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	198,618	6.1	6,939	23.8	7,647	20.1	5,495	57.8
2018年3月期第1四半期	187,136	7.9	5,604	59.0	6,370	63.2	3,482	55.7

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 7,439百万円 ( 4.1%) 2018年3月期第1四半期 7,758百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	43.89	
2018年3月期第1四半期	27.62	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第1四半期	583,081	312,864	52.8	2,457.48
2018年3月期	569,456	308,804	53.3	2,424.97

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 307,706百万円 2018年3月期 303,636百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		17.00		23.00	40.00
2019年3月期					
2019年3月期(予想)		18.00		19.00	37.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	828,000	5.6	25,500	5.7	27,500	5.8	18,600	8.3	148.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期1Q	127,408,285 株	2018年3月期	127,408,285 株
期末自己株式数	2019年3月期1Q	2,196,179 株	2018年3月期	2,195,966 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期1Q	125,212,159 株	2018年3月期1Q	126,120,721 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において、当社が入手している情報および合理的であると判断する前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報等) .....	9
3. 補足情報 .....	11
(1) 海外売上高 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### ① 業績全般の概況

当第1四半期連結累計期間における日本経済は、堅調な企業収益を背景として、設備投資等が増加基調となったほか、雇用・所得環境の改善が持続したこと等により、回復基調を維持しました。また、世界経済においても、米中および米欧における貿易摩擦の影響が不安視されるものの、米国において企業業績が好調に推移したこと等を背景に全体として緩やかな回復基調を維持しました。

このような状況の下、当第1四半期連結累計期間の業績は、国内販売は1,020億2千万円（前年同期比+7.4%）、海外販売は965億9千万円（同+4.8%）となり、売上高は1,986億1千万円（同+6.1%）となりました。

利益面につきましては、国内外における全般的な増収や製造子会社における収益性の改善等により、売上総利益は265億円（同+10.1%）、営業利益は69億3千万円（同+23.8%）となりました。また、経常利益は76億4千万円（同+20.1%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は54億9千万円（同+57.8%）となりました。

#### ② セグメント別の概況

##### 機能素材

機能素材につきましては、国内・海外ともに売上は増加しました。

機能化学品事業は、国内外における自動車生産台数の堅調な推移やナフサ価格の上昇等により、塗料原料およびウレタン原料の売上が増加したことに加え、前第2四半期連結会計期間に買収した米国のディストリビューターの売上が加わったことから、事業全体として売上は増加しました。

スペシャリティケミカル事業は、海外では電子業界向けの一部商材に関して、サプライヤーの生産調整等の影響を受けて売上は減少したものの、国内では半導体関連等の電子業界向けを中心としてエレクトロニクスケミカル、樹脂原料・添加剤の売上が増加したことから、事業全体として売上は増加しました。

この結果、売上高は440億6千万円と前第1四半期連結累計期間に比べ、37億4千万円（+9.3%）の増収となりました。営業利益は13億4千万円と前第1四半期連結累計期間に比べ、1億6千万円（+14.3%）の増益となりました。

##### 加工材料

加工材料につきましては、国内・海外ともに売上は増加しました。

カラー&プロセッシング事業は、国内における工業用および包装材料用の合成樹脂、顔料・添加剤の売上および国内外における情報印刷関連材料等の売上が増加したことから、事業全体として売上は増加しました。

OA・ゲーム機器業界への合成樹脂の販売を中心とするポリマープローバルアカウント事業は、国内およびアセアンにおいて売上が増加したことから、事業全体として売上は増加しました。

この結果、売上高は687億2千万円と前第1四半期連結累計期間に比べ、41億3千万円（+6.4%）の増収となりました。営業利益は国内外の製造子会社の収益性の改善等により、22億9千万円と前第1四半期連結累計期間に比べ、6億3千万円（+38.4%）の増益となりました。

##### 電子

電子につきましては、国内・海外ともに売上は減少しました。

電子化学品事業は、顧客工場の稼働率低下が影響し、フォトリソ材料、半導体業界向け等の変性エポキシ樹脂関連の売上が減少したことにより、事業全体として売上は減少しました。

電子資材事業は、半導体中間工程用の研磨剤関連ビジネスは堅調であったものの、ディスプレイ関連部材の売上が減少したことから、事業全体として売上は減少しました。

この結果、売上高は292億8千万円と前第1四半期連結累計期間に比べ、12億5千万円（△4.1%）の減収となりました。一方、営業利益は主にグレーターチャイナにおける高収益ビジネスの堅調な推移等により、18億6千万円と前第1四半期連結累計期間に比べ、1億4千万円（+8.1%）の増益となりました。

### 自動車・エネルギー

自動車材料事業は、国内、グレーターチャイナおよびアセアンにおいて樹脂ビジネスが好調に推移したことに加え、カーエレクトロニクス関連部材の売上が増加したことから、事業全体として売上は増加しました。

この結果、売上高は341億7千万円と前第1四半期連結累計期間に比べ、34億3千万円(+11.2%)の増収となりました。営業利益は7億9千万円と前第1四半期連結累計期間に比べ、1億1千万円(+17.6%)の増益となりました。

### 生活関連

生活関連につきましては、国内・海外ともに売上は増加しました。

ライフ&ヘルスケア製品事業は、食品素材分野において、トレハ<sup>®</sup>等の売上は海外では減少しましたが、国内では増加しました。スキンケア・トイレタリー分野では、AA2G<sup>®</sup>の国内外での売上が増加しました。医療・医薬分野では、医薬品原料・中間体・医用材料の売上が増加しました。この結果、事業全体として売上は増加しました。

化粧品・健康食品の販売を行うビューティケア製品事業は、全般的に販売が低調であったことから、事業全体として売上は減少しました。

この結果、売上高は222億2千万円と前第1四半期連結累計期間に比べ、14億3千万円(+6.9%)の増収となりました。営業利益は13億4千万円と前第1四半期連結累計期間に比べ、1億3千万円(+10.8%)の増益となりました。

### その他

特記すべき事項はありません。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は、売掛金やたな卸資産の増加等により、前連結会計年度末に比べ、110億3千万円増加の3,643億5千万円となりました。固定資産は、保有株式の時価上昇による投資有価証券の増加等により、前連結会計年度末に比べ、25億9千万円増加の2,187億2千万円となりました。この結果、総資産は前連結会計年度末に比べ、136億2千万円増加の5,830億8千万円となりました。

負債は、短期借入金やコマーシャル・ペーパーの増加等により、前連結会計年度末に比べ、95億6千万円増加の2,702億1千万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益54億9千万円を計上したほか、その他有価証券評価差額金の増加等により、前連結会計年度末に比べ、40億5千万円増加の3,128億6千万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の53.3%から0.5ポイント減少し、52.8%となりました。

## (3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

2018年5月7日に公表いたしました通期連結業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	43,303	41,845
受取手形及び売掛金	225,999	231,594
商品及び製品	67,681	73,630
仕掛品	1,883	2,120
原材料及び貯蔵品	4,106	4,660
その他	10,953	10,974
貸倒引当金	△602	△466
流動資産合計	353,325	364,358
固定資産		
有形固定資産	67,225	66,698
無形固定資産		
のれん	25,478	25,210
技術資産	12,215	11,821
その他	3,396	3,131
無形固定資産合計	41,090	40,163
投資その他の資産		
投資有価証券	100,403	104,820
長期貸付金	109	102
繰延税金資産	2,409	2,060
その他	4,992	4,977
貸倒引当金	△101	△100
投資その他の資産合計	107,813	111,860
固定資産合計	216,130	218,722
資産合計	569,456	583,081

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	118,028	119,512
短期借入金	31,934	39,246
1年内返済予定の長期借入金	11,067	10,927
コマーシャル・ペーパー	5,000	8,000
1年内償還予定の社債	-	10,000
未払法人税等	1,738	1,482
賞与引当金	5,451	2,606
役員賞与引当金	274	88
その他	19,500	19,174
流動負債合計	192,996	211,038
固定負債		
社債	20,000	10,000
長期借入金	17,906	17,932
繰延税金負債	14,420	15,904
退職給付に係る負債	14,518	14,600
その他	809	741
固定負債合計	67,655	59,178
負債合計	260,651	270,217
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	9,699	9,699
資本剰余金	11,158	10,659
利益剰余金	232,534	235,149
自己株式	△3,114	△3,114
株主資本合計	250,278	252,394
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	50,773	52,363
繰延ヘッジ損益	△15	21
為替換算調整勘定	2,917	3,185
退職給付に係る調整累計額	△317	△258
その他の包括利益累計額合計	53,358	55,312
非支配株主持分	5,168	5,157
純資産合計	308,804	312,864
負債純資産合計	569,456	583,081

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
売上高	187,136	198,618
売上原価	163,064	172,111
売上総利益	24,072	26,506
販売費及び一般管理費	18,467	19,567
営業利益	5,604	6,939
営業外収益		
受取利息	43	58
受取配当金	684	819
受取賃貸料	68	67
持分法による投資利益	204	247
為替差益	16	-
その他	83	129
営業外収益合計	1,100	1,323
営業外費用		
支払利息	236	360
為替差損	-	157
その他	97	96
営業外費用合計	334	614
経常利益	6,370	7,647
特別利益		
固定資産売却益	0	20
投資有価証券売却益	-	1
関係会社株式売却益	-	6
特別利益合計	0	28
特別損失		
固定資産売却損	19	7
固定資産廃棄損	13	16
減損損失	225	-
事業撤退損	230	-
段階取得に係る差損	294	-
特別損失合計	782	23
税金等調整前四半期純利益	5,588	7,652
法人税、住民税及び事業税	1,170	1,044
法人税等調整額	935	1,053
法人税等合計	2,106	2,097
四半期純利益	3,482	5,554
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	58
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,482	5,495



## (四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
四半期純利益	3,482	5,554
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,747	1,591
繰延ヘッジ損益	△1	36
為替換算調整勘定	493	240
退職給付に係る調整額	54	59
持分法適用会社に対する持分相当額	△18	△43
その他の包括利益合計	4,276	1,884
四半期包括利益	7,758	7,439
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,718	7,449
非支配株主に係る四半期包括利益	39	△10

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	全社 (注) 2	調整額 (注) 3	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 4
	機能素材	加工材料	電子	自動車・ エネルギー	生活関連	計					
売上高											
外部顧客への 売上高	40,323	64,592	30,539	30,739	20,793	186,989	146	187,136	-	-	187,136
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	600	569	522	671	122	2,486	1,087	3,573	-	△3,573	-
計	40,924	65,161	31,062	31,411	20,916	189,476	1,234	190,710	-	△3,573	187,136
セグメント利益又 は損失(△)	1,178	1,660	1,726	679	1,217	6,462	61	6,524	△1,018	98	5,604

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流サービス、情報処理サービス、職能サービス等を含んでおります。

2. 「全社」におけるセグメント利益又は損失(△)は、各報告セグメントおよび「その他」に配分していない費用であります。

3. 調整額はすべてセグメント間取引消去によるものであります。

4. セグメント利益又は損失(△)の合計の金額に、「全社」および調整額を加えた額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	全社 (注) 2	調整額 (注) 3	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 4
	機能素材	加工材料	電子	自動車・ エネルギー	生活関連	計					
売上高											
外部顧客への 売上高	44,068	68,723	29,282	34,178	22,223	198,476	141	198,618	-	-	198,618
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	746	610	487	680	105	2,631	1,363	3,995	-	△3,995	-
計	44,814	69,334	29,769	34,859	22,329	201,108	1,505	202,613	-	△3,995	198,618
セグメント利益又 は損失(△)	1,347	2,298	1,867	799	1,349	7,661	75	7,736	△902	104	6,939

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流サービス、情報処理サービス、職能サービス等を含んでおります。

2. 「全社」におけるセグメント利益又は損失(△)は、各報告セグメントおよび「その他」に配分していない費用であります。

3. 調整額はすべてセグメント間取引消去によるものであります。

4. セグメント利益又は損失(△)の合計の金額に、「全社」および調整額を加えた額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

### (事業区分の変更)

当第1四半期連結会計期間より、前連結会計年度において「機能素材」セグメントに分類しておりましたFitz Chem LLCを、「機能素材」および「生活関連」の2区分に変更しております。この変更は事業管理単位の変更によるものであります。なお、同社の取得は前第2四半期連結会計期間であったことから、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報についての影響はありません。

報告セグメントごとの主な取り扱い商品・製品および提供するサービスは次のとおりであります。

「機能素材」セグメントは、塗料・インキ、樹脂、ウレタンフォーム、有機合成、界面活性剤、半導体業界等に対して、主な商品として塗料・インキ用原料、ウレタン原料・副資材、樹脂原料、樹脂添加剤、油剤原料、界面活性剤原料、フッ素ケミカル、封止材原料、シリコン原料等を販売しております。

「加工材料」セグメントは、顔料・添加剤関連、情報印刷関連材料、繊維加工業界並びに樹脂原材料・樹脂成型品、機能性フィルム・シート、土木建築等の業界に対して、主な商品として染料、顔料、機能性色素、情報印刷関連製品、熱可塑性樹脂、熱硬化性樹脂、自動車補修塗料、導電塗料、合成ゴム、無機材料、合成樹脂資材、樹脂成形機・金型等を販売しております。

「電子」セグメントは、ディスプレイ、タッチパネル、半導体、HDD、電子部品、重電業界等に対して、主な商品としてLCD・半導体前工程用材料および装置、ディスプレイパネル用部材、半導体アセンブリ材料および装置、低温・真空機器、高機能エポキシ樹脂、電子精密研磨剤等を販売しております。

「自動車・エネルギー」セグメントは、自動車・自動車部品業界およびエネルギー業界に対して、主な商品として合成樹脂製品、熱可塑性樹脂、熱硬化性樹脂、シリコン製品、樹脂成形機・金型、カーエレクトロニクス関連高機能素材・部品、電池材料、太陽電池・二次電池関連部材等を販売しております。

「生活関連」セグメントは、医薬、食品、化粧品等の業界に対して、主な商品として医薬・農薬原料、研究用試薬、検査薬、酵素剤、食品添加物、化粧品添加物、飼料、界面活性剤を販売しており、主なサービスとして放射線測定を提供しております。また、最終消費者に対して、化粧品、健康食品、美容食品等を販売しております。

## 3. 補足情報

## (1) 海外売上高

前第1四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)

	グレート チャイナ	アセアン	米州	欧州	その他	計
I 海外売上高(百万円)	50,254	26,128	7,685	3,474	4,643	92,186
II 連結売上高(百万円)						187,136
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	26.8	14.0	4.1	1.9	2.5	49.3

当第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

	グレート チャイナ	アセアン	米州	欧州	その他	計
I 海外売上高(百万円)	51,169	28,438	9,602	3,452	3,932	96,596
II 連結売上高(百万円)						198,618
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	25.8	14.3	4.8	1.7	2.0	48.6

- (注) 1. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。  
 2. 国または地域の区分の方法は、地理的近接度によっております。  
 3. 各区分に属する主な国または地域  
 (1) グレートチャイナ・・・中国、香港、台湾  
 (2) アセアン・・・・・・・・タイ、シンガポール  
 (3) 米州・・・・・・・・米国、メキシコ  
 (4) 欧州・・・・・・・・ドイツ  
 (5) その他・・・・・・・・韓国